



日野 泰雄 氏  
大阪市立大学名誉教授  
高石市行政計画審議会会長



西村 陽子 氏  
高石市教育委員会委員  
高石市行政計画審議会副会長



阪口市長



山路 駒子 氏  
高石市防犯協会会長



福井副市長



久野 譜也 氏  
筑波大学教授



橋爪 紳也 氏  
大阪府立大学研究推進機構特別教授



古来 隆雄 氏  
(一社) 地域循環共生社会連携協会審議役



西村 朋恵 氏  
高石市元PTA連絡協議会会長



川村 千春 氏  
高石市民生委員児童委員協議会 会長

### 第5次高石市総合計画シンポジウムを開催

## 「みんなが輝く 育みと健幸の住みよいまち」をめざして

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、シンポジウムを開催。「10年先の将来」を見据えた“まちづくり”についてパネルディスカッションを行いました。

問合せ 総合政策課 ☎(275) 6034



西村陽子氏…子どもが健やかに育っていくためには、親も子も安心できる環境を整えることがとても重要だと実感しています。教育委員として、小・中学校を訪問し、タブレットを活用した授業を見せただけでしたが、創意工夫を凝らした授業が展開されており、子どもがいきいきと授業に参加していることに、とても感心しました。これをいかに深い学びにつなげていくのかも重要な課題ですが、今後のICT活用についてはどのようにお考えでしょうか。

府内トップクラスの  
ICT環境

01 明日の担い手を育む



02 みんなで支え合い、健やかに過ごせる



01 明日の担い手を育む

### 第5次高石市総合計画 5つのまちづくり目標



**阪口市長**：タブレットを使用したA  
ードリルの活用により、各々の課題  
が共有できて、全体の理解を深める  
ことができています。また、現場の  
先生たちもよくやってきてくれていま  
す。学校ICTの習熟度、教員の指  
導力などは大阪府内でもトップクラ  
スにあります。ただ、これはまだス  
タートなので、さらにいろんな分野  
に広げて欲しいと考えています。

## ”学び直し” 地域交流のきっかけに

**日野氏**：2025年には団塊の世代  
が後期高齢者になり、地域社会を支  
えるためには新しい世代の参画が必  
要になります。団塊Jr.世代の40〜50  
代の皆さんには、PTAやご自身の  
趣味等を通じた新たな地域交流を  
作ってほしいと思います。



**西村朋恵氏**：PTA活動をきっか  
けにできた交友関係が、SNSのや  
り取り等につながり、さらに地域  
活動へも繋がっていくのではない  
でしょうか。

**西村陽子氏**：リカレント教育（学  
び直し）も、60歳を過ぎた定年の  
時期に、新たな地域活動にデビュ  
ーする良いきっかけになればいいで  
すね。

**山路氏**：公民館での文化活動を通  
じた交流も、スムーズな世代交代  
につながると思います。本人にとっ  
ても学び直しの機会は、豊かな人  
生を送るためには重要だと感じま  
す。

**阪口市長**：市としても、リカレン  
ト教育の場を提供すると共に、市  
内には専門学校や大学があります  
から、連携してやっていきたいと  
考えています。



**日野氏**：いくつになっても、何か  
を学びたいという”知識欲”を忘れた  
い欲しいです。行政や企業には、  
それができるような仕組み作りを  
お願いしたいです。

**川村氏**：これまで、キックベ  
ースボールを通じて20年ほど子ども  
の育成に関わってきましたが、大き  
くなっても声掛けがしやすいの  
で、青少年の健全育成につながっ  
ていると感じています。また、担  
い手不足という点では、全く知ら  
ないところに飛び込んで各役員を  
するのは難しいと思うので、キッ  
クベースボールや地域のイベント  
による交流はとてもいいと思いま  
す。



### 05 持続可能な よりよい未来へつなぐ



### 04 人を惹きつける 魅力と活力があふれる



### 03 安全・安心で 快適に暮らせる



## 02

みんなで支え合い、  
健やかに育てる

### 人生100年時代

#### いつの時代も元気に

**久野氏（ビデオ出演）**：日本は世界に先駆けて人生100年時代を迎えようとしています。高石市には80歳・90歳になっても、「最後が一番輝いて生活ができるまち」をめざしていただきたいです。全国に先駆けて始めていただいた健幸ポイント事業ですが、もっと多くの人に参加してもらい、元気で過ごしていただきたいと思います。また、子育て世代のメンタルヘルス問題のサポートにもこれから取り組んでいくようなので、期待しています。

**阪口市長**：子育てに関しては、妊娠・出産・子育ての切れ目ないサポートが必要です。年3回の乳幼児すこやか見守り支援事業では、ボランティアが各世帯を訪問し、有田川町の木を使用した積み木や育児用品と交換できるチケットを提供しながら育児の困りごとをサポートしていきます。



#### 小さいまちだからできる 全戸訪問

**川村氏**：つながりが必要としている高齢者は多く、独居世帯への見守り訪問をしています。高齢者のみ世帯へのサポートに課題があります。施策の隙間にいる方を把握するため、孤立ゼロプロジェクトを実施するとお聞きしていますが。

**阪口市長**：「行政とつながりがいい世帯を全戸訪問しよう」というのが、孤立ゼロプロジェクト。これは小さいまち高石市だからできると思っています。

## 03

安全・安心で  
快適に過ごせる

### 全自主防災組織で

#### “地区防災計画を

**福井副市長**：今後30年以内に70〜80%の確率で南海トラフ地震が発生すると言われています。その中で、全自治会に自主防災組織があるというのは、大阪府内でも先進的な取り組みといえます。また、今年度中に津波、洪水、内水、高潮の浸水想定区域図と避難場所や災害への日頃からの備えなどを記載した総合防災マップの配布を進めていきます。

**山路氏**：各自主防災組織では、新しい防災知識の習得や訓練にも参加してきました。日頃からの心構えが災害に強いまちを作ると思いますが、地区ごとの「地区防災計画」を作ることが大変重要であると捉えています。地域の情報は持っていますが、どのように進めればみんなに伝わるのか。それらの点について、市の支援が必要であると感じています。

**福井副市長**：すごく頼もしく思います。これは他の自主防災組織に共通する課題と認識しています。今後は全51の自主防災組織で地区防災計画が作成できるようさらに作成マニュアルを分かりやすく、使いやすいように改善していきます。



## 04

人を惹きつける  
魅力と活力があふれる

### 資源の有効活用と協働が鍵に

**橋爪氏（ビデオ出演）**：工場夜景やシーサイドフェスティバルをはじめとする地域活性化の取り組みは、市をプロモーションする上で、非常に効果的だと評価しています。独特の空間である浜寺水路一帯のウォーターフロントや浜寺公園を活かし、市民の集い・賑わいの場の拠点としてのまちづくりがますます求められるでしょう。また、高架化を皮切りに

駅周辺のリノベーションを行い、学生の交流や、そこに降りてみたい・滞在したいと思えるような場所を作ることが、交流人口を増やすことにつながるのではないのでしょうか。

**阪口市長**：浜寺水路は漕艇の学生選手権なども開催されている素晴らしい場所なので、更なる活用に取り組んでいきます。駅周辺の活性化についても、駅前広場に芝生を張るなど、リノベーションまちづくりを進めていきます。

**日野氏**：魅力や活力を見出し、いくためには、箱物だけではなく、それを有効活用するための準備が必要であり、市民の皆さんに知っていただき、参画いただくことが非常に大事になります。



また、施設を含むエリアは、有機的につながっていることが重要な要素になります。そのためには、市民と行政と事業者などの協働の力が必要ですので、ぜひ皆さんの力をお借りし、これが実現できることを期待しています。



## 05 持続可能なよりよい未来へつなぐ

### 産業構造の変化に則した政策の実現を

**古来氏**（ビデオ出演）：2050年までのカーボンニュートラル達成をめざし、温暖化対策と二酸化炭素を出さない社会づくりが急ピッチで進んでいます。そのため、高石市の産業構造も大きく転換していくことになるでしょう。大事なことは「自分たちの生活がこう良くなるんだよ」

ということを、市民の皆さんに理解してもらおうことです。高石市の得意なところを活かし、全国をリードするような政策を市民の皆さんと協働して進めていただきたいと思います。



### ”必要なのは世代交代ではなく、全世代の活躍“

**日野氏**：次の地域社会をつくり支えていくのは、団塊Jr.の皆さんです。デジタル化が進む中で、行政としても情報発信をどうしていくのか。SNSなどの様々なツールがあり、大きな地域コミュニティの形成も可能になると思います。1億総活躍社会と言われるものが、あらゆる世代が活躍するための人材を行政で把握していただきたい。市民と行政がデータで結ばれると、大きな力になると思います。

最後に、誰かと一緒にいうことを大事にしていたきたいと思います。自分一人ですることでも大事なことです。誰かと一緒に出掛けることによって、一人だとまっすぐ帰るところを2人、3人いると寄り道しようということになり、小さくとも消費が生まれます。それによって、経済が少しでも活性化するかもしれません。また、外出機会が増え、健康のまちづくりにもつながると思いますので、そういうところを大事にしたいと思います。

**阪口市長**：今まで高石市を支えていただいた方々には本当に感謝しています。人生100年時代ですから、これからも頑張っていたきたい。その間に、次の世代がどんどん出てきてほしいと思っています。これは、世代交代ではなく、全ての世代が力を合わせること。高石市では、全世代が力を合わせてコロナに立ち向かってきているのですから、できるはずですよ。次の10年間、私は明るいものだと確信していますから、元気に力を合わせて頑張っていきたいと思います。



シンポジウムの映像はYouTubeで公開しています。